

環境経営レポート

レポート対象期間（令和2年7月～令和3年6月）

<エコアクション21ガイドライン2017年版対応>



環境リサイクルエネルギー株式会社

令和3年10月1日

目次

1. 組織の概要	
■ 社名等	3
■ 事業の規模	4
■ 許可の内容	4
■ 運営体制（EA21組織図）	5
■ 実施体制における役割、責任及び権限	6
■ 財務諸表	7
■ 産業廃棄物の処理工程図	8
■ 廃棄物の受託量（平成30年度～令和2年度）	9
■ 中間処理後産業廃棄物の処分量（平成30年度～令和2年度）	9
■ 中間処理に伴う熱回収実績（廃棄物発電）（平成30年度～令和2年度）	10
■ 処理料金	10
■ 施設の見学について	10
2. 対象範囲（認証・登録範囲）	
■ 対象とする組織	10
3. 環境経営方針	
■ 事業コンセプト	11
■ 環境経営方針	12
4. 実績・計画・環境経営目標	
■ 過去実績まとめ（平成30年度～令和2年度）	13
■ 環境経営計画	14
■ 環境経営計画における環境経営目標	15, 16
■ 各項目における環境経営の実績	17
5. 環境経営計画の取組結果への考察と次年度の取組内容	18, 19
6. 教育・訓練	
■ 教育・訓練の実施記録	19
■ 次年度の教育・訓練計画	19
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反訴訟の有無	20
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	20

1.組織の概要

■社名等

会社名	環境リサイクルエネルギー株式会社		
代表者	代表取締役 外間 広志		
住所	本社	長崎県佐世保市干尽町3番地47	
	処理施設	バイオマス燃料製造施設	長崎県佐世保市宮津町646番地3、5
		バイオマス等発電施設	長崎県佐世保市宮津町646番地3、4
電話	0956-20-4222		
FAX	0956-59-2920		
法人設立何月日	平成19年7月23日		
資本金	310,000千円		
役員等氏名、就任年月日	代表取締役	外間 広志	平成23年9月9日
	取締役	田雑 豪裕	平成23年9月9日
	取締役	城島 壽一	平成23年9月9日
	取締役	太田 作樂	平成23年9月9日
	取締役	梅村 良輔	平成23年9月9日
	取締役	檜田 将悟	平成25年9月11日
	取締役	石崎 信雄	平成27年9月25日
	取締役	中西 一彦	平成28年9月15日
	取締役	永田 裕一	平成30年9月6日
	取締役	外間 広一	令和2年9月18日
	取締役	奥野 良功	令和2年9月18日
	監査役	満野 悟己	令和2年9月18日
事業内容	<p>一般廃棄物・産業廃棄物処分量</p> <p>バイオマス燃料製造施設では、一般廃棄物（浄化槽に係る汚泥、し尿）と産業廃棄物（汚泥、動植物性残さ、動物のふん尿）を受け入れ、活性汚泥法（微生物による固液分離）での水処理を行い、汚泥の脱水・乾燥処理を行います。乾燥汚泥は、隣接するバイオマス等発電施設にて助燃剤として処理します。また、処理後の水は、再生水として敷地内の施設で再利用されます。</p> <p>バイオマス等発電施設では、隣接するバイオマス燃料製造施設から排出される乾燥汚泥、隣接する建設副産物再資源化施設で破碎・選別した可燃物および外部からの一般廃棄物（燃やせるごみ、感染性一般廃棄物）と産業廃棄物（汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物、ゴムくず、動物のふん尿、感染性産業廃棄物）を受け入れ焼却による中間処理を行います。焼却の際は廃熱を回収し、蒸気タービンによる発電（サーマルリサイクル）を行います。敷地内の全ての施設の電力は、この発電電力で賄われ、余剰電力を売電しています。また、焼却後の主灰（燃えがら）、飛灰（ばいじん）は、薬剤（キレート剤）による重金属等の安定化処理をし、管理型最終処分場での埋立処分またはセメント等へのリサイクルを行う業者へ処理委託しています。</p>		

■事業の規模

(期首7月1日～期末6月30日)

	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
従業員数	人	48	49	48
売上高	百万円	1,039	1,158	1,180
床面積	m ²	4,600	4,600	4,600
処理能力	t/h	95 t /24 h	95 t /24 h	95 t /24 h
処理量 (焼却処理分)	t	28,573	29,274	29,831

■許可の内容

○バイオマス燃料製造施設

廃棄物の分類	一般廃棄物	産業廃棄物
許可の年月日	平成24年6月20日	平成29年7月30日
有効期限		令和4年7月29日
許可番号	佐世保市指令19廃リ第117号 (設置許可番号)	08021167577
事業の範囲	乾燥	中間処理(乾燥)
廃棄物の種類	①浄化槽に係る汚泥 ②し尿	①汚泥②動植物性残さ③動物のふん尿(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く)

○バイオマス等発電施設

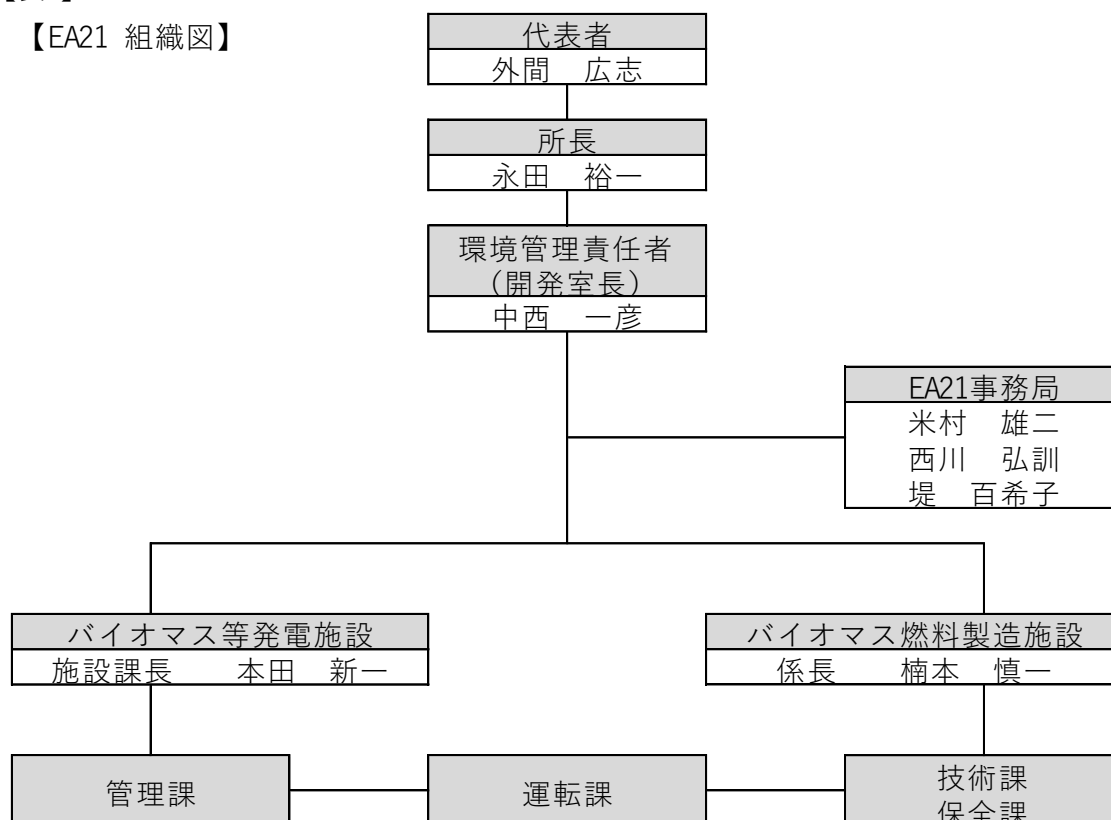
廃棄物の分類	一般廃棄物	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物
許可の年月日	平成24年8月10日	平成29年7月30日・8月31日
有効期限		令和4年7月29日・8月30日
許可番号	佐世保市指令19廃リ第117号 (設置許可番号)	08021167577・08071167577
事業の範囲	焼却	中間処理(焼却)
廃棄物の種類	①燃やせるごみ ②感染性一般廃棄物 (特別管理一般廃棄物)	①汚泥②廃油③廃酸④廃アルカリ⑤廃プラスチック類⑥紙くず⑦木くず⑧繊維くず⑨動植物性残さ⑩動物系固形不要物⑪ゴムくず⑫金属くず(医療関係機関等から排出されるものに限る)⑬ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(医療関係機関等から排出されるものに限る)⑭動物のふん尿(これらのうち石綿含有産業廃棄物を除き、特別管理産業廃棄物であるものを除く) ⑮感染性産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)

■運営体制

当社が、事業活動を行う上で環境管理を推進するための組織図を【表1】に示します。

【表1】

【EA21 組織図】



環境管理責任者
連絡先

中西 一彦
TEL 0956-20-4222
FAX 0956-59-2920
MAIL gouriki-10@circus.ocn.ne.jp

実施体制における役割、責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を策定する。 ・環境経営目標及び環境経営計画を承認する。 ・環境経営システムの構築及び運用、環境経営目標及び環境経営計画の実施に必要な資源（人的・物的・財務的資源）を用意する。
所長	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者（経営者）に代わってエコアクション21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築、運用、維持し、その取組状況を確認・評価し代表者に報告する。 また、問題点がある場合は必要な是正及び予防処置を実施し、このことも代表者に報告する。
環境管理責任者 EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム、環境経営方針、環境経営目標の見直しを行う。 ・環境経営システムに関する記録を管理・保存する。 ・「教育・訓練の実施の年間計画の策定」、「社内外における環境コミュニケーションの取りまとめ」、「環境上の緊急事態への対応策を定め、そのための準備や訓練の実施の管理」、「環境関連文書及び記録の作成・管理」を行う。 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックを実施する。 ・EA21文書、記録類及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ・環境関連法規等取りまとめ表を作成する。 ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う。 ・環境レポートを作成する。
課長・係長・主任	<ul style="list-style-type: none"> ・各職場における環境経営方針の周知、従業員に対する教育。 ・PDCAサイクルを各職場で回すための指示・監督を行う。 ・環境作業手順書に従って、環境経営計画における担当環境作業を実施し、結果をチェックし、記録を取り環境保全責任者または事務局に報告する。 ・以下のデータを記録し環境管理責任者または事務局に報告する。 <ul style="list-style-type: none"> ①走行距離 供給燃料量 ②電力消費量 ③事業系廃棄物排出量 ④その他必要な項目
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を理解し、環境経営計画に従って活動する。

■財務諸表

(平成30年度～令和2年度)
環境リサイクルエネルギー株式会社 財務諸表

【第13期】

貸借対照表

令和1年6月30日現在

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	478,852,359	流動負債	158,972,751
固定資産	4,796,214,903	固定負債	3,412,710,662
繰延資産	19,394,138		
		負債の部合計	3,571,683,413
		(純資産の部)	
		資本金	310,000,000
		利益余剰金	1,412,777,987
		純資産の部合計	1,722,777,987
資産の部合計	5,294,461,400	負債・純資産の部合計	5,294,461,400

損益計算書(H30/7/1～R1/6/30)

科目	金額
売上高	1,039,192,612
売上原価	879,755,988
売上総利益	159,436,624
販管費	94,281,227
営業利益	65,155,397
営業外収益	17,771,894
営業外費用	57,496,495
経常利益	25,430,796
特別利益	0
税引前当期純利益	25,430,796
法人税、住民税、事業税	10,316,300
当期純利益	15,114,496

※減価償却費を計上していません。

【第14期】

貸借対照表

令和2年6月30日現在

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	352,710,823	流動負債	325,098,372
固定資産	4,994,925,613	固定負債	3,012,965,446
繰延資産	38,507,901		
		負債の部合計	3,338,063,818
		(純資産の部)	
		資本金	310,000,000
		利益余剰金	1,738,080,519
		純資産の部合計	2,048,080,519
資産の部合計	5,386,144,337	負債・純資産の部合計	5,386,144,337

損益計算書(R1/7/1～R2/6/30)

科目	金額
売上高	1,158,970,387
売上原価	898,827,662
売上総利益	260,142,725
販管費	101,386,360
営業利益	158,756,365
営業外収益	15,578,805
営業外費用	96,123,485
経常利益	78,211,685
特別利益	17,517,680
税引前当期純利益	60,694,005
法人税、住民税、事業税	10,450,462
当期純利益	50,243,543

※減価償却費を計上していません。

【第15期】

貸借対照表

令和3年6月30日現在

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	828,776,977	流動負債	587,625,766
固定資産	5,080,176,140	固定負債	3,211,136,722
繰延資産	40,932,167		
		負債の部合計	3,798,762,488
		(純資産の部)	
		資本金	310,000,000
		利益余剰金	1,841,122,796
		純資産の部合計	2,151,122,796
資産の部合計	5,949,885,284	負債・純資産の部合計	5,949,885,284

損益計算書(R2/7/1～R3/6/30)

科目	金額
売上高	1,179,868,613
売上原価	855,440,911
売上総利益	324,427,702
販管費	141,278,349
営業利益	183,149,353
営業外収益	34,082,047
営業外費用	64,488,938
経常利益	152,742,462
特別損失	5,916,412
税引前当期純利益	146,826,050
法人税、住民税、事業税	24,685,247
当期純利益	122,140,803

※減価償却費を計上していません。

■ 廃棄物の受託量

(平成30年度～令和2年度)

項目	廃棄物の種類		処分方法	単位	処分量		
					平成30年度	令和元年度	令和2年度
中間処理	一般廃棄物	し尿等	乾燥	t	5,000.68	5,589.19	5,915.25
		脱水ケーキ		t		0.00	0.00
		燃やせるごみ	焼却	t	108.50	322.75	776.99
		(うち脱水ケーキ)		t	108.50	322.75	411.42
		特別管理 感染性一般廃棄物		t		0.00	0.00
			t				
	産業廃棄物	汚泥	乾燥	t	4,086.95	4,480.66	4,574.75
		動植物性残さ		t	1.80	21.18	25.54
		動物のふん尿		t		44.10	54.66
		汚泥	焼却	t	1,580.78	2,383.76	2,132.04
		廃油		t	392.56	435.86	412.71
		廃酸		t	7.96	12.01	14.26
		廃アルカリ		t	36.92	39.92	39.92
		廃プラスチック類		t	10,060.97	9,272.74	8,044.56
		紙くず		t	206.19	256.92	380.66
		木くず		t	450.48	377.70	384.52
		繊維くず		t	10.58	18.39	16.90
		動植物性残さ		t	1,620.57	1,735.49	1,482.93
		動物系固形不要物		t		0.00	0.00
		ゴムくず		t		2.86	0.00
		金属くず※		t	0.13	0.14	0.53
		ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず※		t	18.91	27.84	30.73
		動物のふん尿	t		31.91	3.69	
		混合廃棄物(主に建設系)	t	12,660.57	12,511.38	14,113.60	
		特別管理 感染性廃棄物	t	1,417.81	1,844.46	1,996.76	
		t					
	うち 再資源化等	※印以外の焼却		焼却熱回収	t	28,553.89	29,246.15
			t				
再資源化等量小計				t	28,553.89	29,246.15	29,433.98
中間処理合計				t	37,662.36	39,409.26	40,401.01

■ 中間処理後産業廃棄物の処分量

(平成30年度～令和2年度)

項目	廃棄物の種類	処分方法	単位	処分量				
				平成30年度	令和元年度	令和2年度		
中間処理後 産業廃棄物 (一廃・産廃)	最終処分	燃え殻(主灰)	管理型埋立【委託】	t	3,744.18	2,510.42	2,894.12	
		ばいじん(飛灰)	管理型埋立【委託】	t	956.42	983.97	497.38	
		小計		t	4,700.60	3,494.39	3,391.50	
	再資源化等	燃え殻(主灰)	コンクリート固化【委託】 セメント原料として再生利用	t	437.66	448.63	437.14	
			セメント原料として再生利用【委託】	t	488.46	470.90	468.44	
		ばいじん(飛灰)	造粒固化【委託】 コンクリートブロックとして再生利用	t	316.80	358.48	883.84	
			混練【委託】 セメント原料として再生利用	t	99.85	0.00	0.00	
		小計		t	1,342.77	1,278.01	1,789.42	
	合計				t	6,043.37	4,772.40	5,180.92

■中間処理に伴う熱回収実績（廃棄物発電）

（平成30年度～令和2年度）

種類	発電所名／売電先	電力量 [kWh]		
		平成30年度	令和元年度	令和2年度
発電量	バイオマス発電所 豪力	14,424,000	14,546,680	14,225,131
売電量	ミツロコグリーンエネルギー(株)	9,110,484	8,898,451	8,594,078
消費電力量	長崎総合リサイクル事業所	6,015,526	6,237,529	6,102,052

■処理料金

処理料金については、種類、数量、処理の難易度によつての計算となります。また、当社では焼却処分できない品目もありますので、事前にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 TEL：0956-20-4222 FAX：0956-59-2920

[URL:http://www.apesion.com](http://www.apesion.com)

■施設の見学について

施設見学は、随時受け付けております。事前にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】 TEL：0956-20-4222 FAX：0956-59-2920

[URL:http://www.apesion.com](http://www.apesion.com)

なお、令和2年度の施設見学件数は下記の通りです（訪問団体数としています）

	令和元年度
訪問件数（団体数）	26 件

2.対象範囲（認証・登録範囲）

■対象とする組織

事業者名	環境リサイクルエネルギー株式会社		
本社所在地	長崎県佐世保市干尽町3番地47		
	<input checked="" type="checkbox"/> 1社1事業所 <input type="checkbox"/> 1社複数事業所		
事業所名	所在地	従業員人数	敷地面積 床面積
長崎総合リサイクル事業所 （バイオマス燃料製造施設） （バイオマス等発電施設）	長崎県佐世保市宮津町 646番地3, 4, 5	48名	72,436㎡ 4,600㎡
事業活動内容			
一般廃棄物及び産業廃棄物処分量			

※本社は県北衛生社の中にあり、業務自体は宮津町で行っているため本社での活動実績は無し。尚、県北衛生社はE A 2 1 認証・登録済み。

3.環境経営方針

■事業コンセプト

環境リサイクルエネルギー株式会社 事業コンセプト

環境リサイクルエネルギー株式会社は、4つの事業コンセプトに基づき、地球環境及び地域環境に配慮した事業活動を行っていきます。

(1) リサイクルシステムの構築 ～「循環型社会」形成への貢献～

資源の枯渇防止、地球温暖化対策など持続可能な社会構築の為に、熱回収による発電（サーマルリサイクル）・再資源化（マテリアルリサイクル）排水の再利用などの手法で廃棄物をリサイクルします。

(2) 地域社会との共存 ～情報開示、現場教育～

企業は、地域社会に理解され共存することで、初めて社会的意義が発揮できるものと考えています。そのため操業中の周辺環境の測定調査（排ガス、水質、騒音・振動など）を実施し情報公開を行います。また、操業過程を公開することで地域の環境学習に貢献するなど、地域と一体となって環境問題に取り組みます。

(3) 産業廃棄物の長崎県内処理の実現 ～排出（事業）者責任の適正管理～

産業廃棄物は、排出した事業者が自己責任で処理またはリサイクルすることが原則となっています（排出者責任）。しかし、現在は多くの廃棄物が長崎県外で処理されており、その実態の把握は非常に困難です。当プラントでは廃棄物の県内処理を実現することで、排出事業者の方々が適正な管理を行うサポートをします。

(4) 新規事業の創出 ～地元雇用の推進による発展～

地元雇用に優先して行い、地域の皆さまと共に育っていく企業を目指します。また、今後は発電の余熱を利用し、ハウス水耕栽培などの新規事業を積極的に推進し、そのノウハウを皆さまと分かち合うことで、地域の新しい「まちおこし」の活力を引き出すことに寄与します。

以上の事業コンセプトを実践するために、環境方針を定め、数値目標を設定した上で、省エネルギー、省資源、リサイクル活動等を継続的に行います。

環境リサイクルエネルギー株式会社 環境経営方針

地球環境及び地域環境に配慮した事業活動を行うため、数値目標を設定し、省エネルギー、省資源、リサイクル活動等を継続的に行います。

1. 省エネルギー活動の推進
 - ・事業活動における電力使用量の節減、二酸化炭素排出の削減に努めます。
2. 燃料消費量削減によるCO₂削減の推進
 - ・施設内移送の効率化により車両の、廃棄物の搬入の際の事前分別に努め重機等の燃料削減を図るなど、環境負荷への低減を推進します。
3. 水資源を大切にし、節水活動に努めます。
4. 事業系廃棄物の削減、リサイクル活動の推進
 - ・事業活動に伴う廃棄物を最小限にする努力をし、リサイクル活動を推進します。
※事業系廃棄物は事務所から排出された廃棄物とします。
5. グリーン購入の推進
 - ・グリーン購入の拡大、循環資源の活用を推進します。
6. 環境関連法規の遵守
 - ・環境関連の諸法規及び条例等を遵守します。
7. 継続的環境改善の実施
 - ・環境マネジメントに関する目的・目標を設定し、取組結果を点検・評価することにより、さらなる継続的な環境改善につなげていきます。
8. 情報提供と地域環境活動・施策への協力
 - ・環境活動レポートを公表するなど、社内外に対して環境に関する情報の提供を行うと共に、地域社会の一員として地域の環境活動並びに施策に積極的に参加します。

令和元年 6月 1日 制定

環境リサイクルエネルギー株式会社
長崎総合リサイクル事業所

外間 広志

4.実績・計画・環境経営目標

■過去実績まとめ

- ・ 当社の過去3年間における環境負荷の実績は以下の通りです。

(平成30年度～令和2年度)

環境への負荷		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
温室効果ガス排出量合計		kg-CO2	1,164,442.52	1,245,381.61	1,047,113.78	
エネルギー ー 使用量	電力	電力会社購入	kWh	702,010	589,300	471,000
		自社分	kWh	5,313,516	5,648,229	5,631,053
	ガソリン使用量		L	1,150	319	65
	軽油使用量		L	55,841	53,629	53,076
	A重油使用量		L	116,154	161,067	110,595
受託した 廃棄物の 処理量	中間処理用（一般廃棄物）		t	5,109.18	5,911.94	6,692.24
	中間処理用（産業廃棄物）		t	32,553.18	33,497.32	33,708.77
	中間処理合計		t	37,662.36	39,409.26	40,401.01
	うち再資源化等量		t	28,553.89	29,246.15	29,799.55
	最終処分量		t			
	中間処理後の処分量		t	6,043.37	4,772.40	5,180.92
	中間処理後の再資源化等量		t	1,342.77	1,278.01	1,789.42
廃棄物 排出量 及び 最終 処 分量	一般 廃棄物	()	t			
		()	t			
		最終処分量合計	t			
	産業 廃棄物	最終処分量（管理型埋立）	t	4,700.60	3,494.39	3,391.50
		最終処分量（循環資源量）	t	1,342.77	1,278.01	1,789.42
		最終処分量合計	t	6,043.37	4,772.40	5,180.92
総 排 水 量	公共用水域		m ³			
	下水道		m ³			
	合計		m³			
水 使 用 量	上水		m ³	14,750	16,557	17,579
	工業用水		m ³			
	地下水		m ³			
	合計		m³	14,750	16,557	17,579
循 環 利 用	水の利用量		m ³	35,251	29,143	26,075
	()					
	()					

■環境経営計画

・当社の環境活動計画を以下の表に示します。

取組項目	長期目標	単年度目標	担当者 責任者	取組内容
省エネルギー 活動の推進 ・使用電力 の削減	平成30年度実績 を基準値とし、 3ヵ年で6%減	2%減	全 従業員 各係長	①☑休み及び不在時の照 明消灯 ②☑使用時のパソコンの 電源OFF ③☑内空調の過度な温度 設定はしない
燃料使用量の 削減 ・ガソリン ・軽油 ・A重油	平成30年度実績 を基準値とし、 3ヵ年で6%減	2%減	作業員 各係長	①☑設内での効率的な運 転の推進 ②☑ドリングストップの励行 ③☑両の定期整備の励行 ④☑設の連続運転を目指 す
節水活動の推進	平成30年度実績 (基準値) を超えない	平成30年度実績 を超えない	全 従業員 各係長	①☑道の蛇口を調節して 必要以上に使いすぎない ②流しっぱなしにしない ③掃除などをする際はバ ケツに水を溜めて行う。
事業系廃棄物の 削減・リサイク ル活動の推進	令和元年度実績 を基準値とし、 3ヵ年でリサイク ル率を6%上げる	約2%リサイクル 率を上げる	全 従業員 各係長	①事務所から出るごみの 分別 ②コピー用紙の裏紙使用 ③ペットボトルの分別（ラ ベル・キャップの分 別の徹底）
地域 ボランティア 活動	継続	継続	全 従業員 課長	①☑域交通安全 ②☑隣草刈・ 清掃 2回/年

■環境経営計画における環境経営目標

- ・平成30年度の実績値を環境経営目標基準値と設定し、各項目の年度毎の環境経営目標を数値化し以下に示します。(平成30年度～令和2年度)

○省エネルギー活動の推進（使用電力の削減）

【環境経営目標】

- ・電力消費量と二酸化炭素排出量を、3ヵ年で平成30年度実績の6%削減する。
- ・二酸化炭素排出量を、3ヵ年で平成30年度実績の6%削減する。

項目	目標基準値	環境経営目標		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
電力消費量 [kWh]	6,015,526	5,895,215	5,774,905	5,654,594
CO2排出量 [kg-CO2]	702,096.5	688,054.6	674,012.6	659,970.7

二酸化炭素排出係数：（自社 0.067 kg-CO2）、（MGE 0.493 kg-CO2）

○燃料使用量の削減（ガソリン・軽油・A重油）

【環境経営目標】

- ・燃料（車両、A重油）の消費量を、3ヵ年で平成30年度実績の6%削減する。
- ・二酸化炭素排出量を、3ヵ年で平成30年度実績の6%削減する。 [L]

項目	目標基準値	環境経営目標		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ガソリン使用量	1,150	1,127	1,104	1,081
軽油使用量	55,841	54,724	53,607	52,491
A重油使用量	116,154	113,831	111,508	109,185
CO2排出量 [kg-CO2]	461,515	452,285	443,055	433,824

二酸化炭素排出係数は以下の数値を用いる。

- ・ガソリン使用量：2.32kg-CO2/L
- ・軽油使用量2.58kg-CO2/L
- ・A重油使用量2.71kg-CO2/L

○節水活動の推進（焼却施設を含む水使用量となります。）

【環境経営目標】

- ・平成30年度を基準として、現状維持を目標とします。

項目	目標基準値	環境経営目標		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
水使用量 [m ³]	14,749	平成30年度実績の水準を維持すること		

○事業系廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

【環境経営目標】

・令和元年のリサイクル率を基準に、3ヵ年でリサイクル率を6%引き上げる。

※事業系廃棄物は、令和元年7月より廃棄物の計量を開始。

項目	目標基準値	環境経営目標		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
再生利用 [k g]	21.2	30.0	40.0	50.0
事業系廃棄物 [k g]	570.1	530.0	510.0	510.0
リサイクル率 [%]	3.7	5.7	7.8	9.8
ダンボール [k g]	126.6	126.0	125.0	124.0
ペットボトル [k g]	16.2	16.0	15.5	15.0

※ダンボールとペットボトルは資源ごみとして100%リサイクルの為、リサイクル率には含まない。

○地域ボランティア活動の推進

【環境経営目標】

・平成30年度の実績を基準値とし、次年度以降も継続します。

項目	目標基準値	環境経営目標		
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域ボランティア活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域交通安全 毎日（7：30～8：00） ・ 近隣草刈 清掃 2回/年 	継続して実施		

■各項目における環境経営目標の実績

・環境経営目標に対する実績と達成状況

項目		単位	環境経営 目標値 (令和2年度)	令和2年度 実績	達成率	評価
推進 エネ 活動 の	二酸化炭素排出量	kg-CO2	674,013	609,484	111%	○
	消費電力	kWh	5,774,905	6,102,052	95%	△
燃料 使用 量 の 削 減	二酸化炭素排出量	kg-CO2	443,055	436,799	101%	○
	ガソリン使用量	L	1,104	65	1698%	○
	軽油使用量	L	53,607	44,629	120%	○
	A重油使用量	L	111,508	110,595	101%	○
活節 動水	水使用量	m ³	14,749	17,579	84%	△
イ棄事 ク物業 ルリ系 率サ廃	リサイクル率	%	5.7	5.0	88%	△
活地 動域	地域ボランティア 活動	回	地域交通安全 近隣草刈り、 清掃 2回/年	継続	100%	○

1 二酸化炭素排出係数は、(自社：0.067kg-co2、MGE：0.493kg-co2)を使用。

2 水使用量については焼却施設を含む使用量としている。

3 事業系廃棄物については事務所から出た廃棄物としている。

4 評価は、○：100%以上 △：99%～70% ×：70%未満

5.環境経営計画の取組結果への考察と次年度の取組内容

○省エネルギー活動の推進・燃料使用量削減の推進

目標：電力消費量および燃料使用量を平成30年度実績より3年で6%削減する。

項目	取組内容	評価／考察	次年度の取組内容
電力消費量	①☑休み及び不在時の照明消灯 ②☑使用時のパソコンの電源OFF ③☑内空調の過度な温度設定はしない	二酸化炭素排出量は減少できた。①②③については各自取り組んでいます。	担当者だけではなく、一人一人が省エネ活動に取り組む。
燃料消費量	①☑施設内の効率的な運転の推進 ②☑トリングストップの励行 ③☑両の定期整備の励行 ④☑施設の連続運転を目指す	全項目達成することができた。社用車が減りガソリン使用量が大幅に削減できた。	今後も目標達成を目指す。効率的な運転計画を立て、施設の連続運転を目指す。

○節水活動の推進

目標：平成30年度を基準として、現状維持を目標とする。

項目	取組内容	評価／考察	次年度の取組内容
水使用量	①☑道の蛇口を調節し必要以上に使いすぎない ②流しっぱなしにしない ③掃除等をする際はバケツに水を溜めて行う。	施設の運転状況により使用量が増減する。取組内容については各自取り組んでいます。	平成30年度実績の水準を目指し、水使用量の増加とならないように努めます。

○事業系廃棄物の削減・リサイクル活動の推進

目標：リサイクル率を平成30年度より、3ヵ年で6%の向上を目指す。

※事業系廃棄物排出量は、事務所から排出された廃棄物とする。

項目	取組内容	評価／考察	次年度の取組内容
リサイクル率	・事務所から出るゴミの分別 ・コピー用紙の裏紙使用 ・ペットボトル分別(ラベル、キャップ分別の徹底)	事務所内印刷物再利用を心掛け廃棄物を減らしていきます。	今後もリサイクル率向上を目指し継続して活動を行っていきます。

○地域ボランティア活動

項目	評価／考察	次年度の取組内容
地域ボランティア活動	平成30年度と同様、地域交通安全、地域清掃を実施しています。	次年度以降も継続して行います。

6.教育・訓練

■教育・訓練の実施記録（令和2年度：令和2年7月～令和3年6月）

日時	種類	教育・訓練名	内容	講師
令和2年 7月8日	一般 教育	刈払機取扱作業 者講習	・草刈り機を取り扱う作業者に対する 安全衛生教育	外部 講師
令和2年 11月2日	一般 教育	コンプライアンス 研修会	・コンプライアンスとは ・ハラスメントの種類 ・情報漏えいについて	松本 係長
令和3年 2月15日	一般 教育	EA21の取組につ いて	・活動報告 ・目標の再確認と見直し	環境 管理 責任者

■次年度の教育・訓練計画

対象者	種類	責任者	教育・訓練名	内容	講師
管理職	一般 教育	環境 管理 責任者	EA21に関して	・状況報告 ・法令関係 ・作業手順書の見直し 等	EA21 事務局
全 従業員	一般 教育	所長	緊急事態訓練	・事故、火災等発生時の連絡体制、 初期消火活動、避難経路についての 訓練	EA21 事務局
全 従業員	一般 教育	所長	労働災害につ いて	・労働災害を未然に防ぐには ・過去事故事例 等	安全 管理者

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反訴訟等の有無

環境関連法規法令については、平成19年9月産業廃棄物処理施設設置許可、平成25年産業廃棄物処分業許可、平成29年産業廃棄物処分業更新など、平成24年稼働以来、関係機関、利害関係者からの苦情、訴訟はありませんでした。
今後も環境法令・条例等の遵守に努めます。

名称	法規等の遵守状況
産業廃棄物の処理および清掃に関する法律	○
消防法	○
フロン排出抑制法	○
大気汚染防止法	○
道路交通法	○

8.代表者による全体評価と見直しの結果

令和2年5月にエコアクション21認証取得し、従業員に対し、環境経営方針に定めた、省エネルギー活動の推進、CO2削減の推進、リサイクル活動の推進、節水活動、環境関連法規遵守、地域への情報提供など社内への周知、浸透、理解を図っております。
今後も、一人一人が環境負荷を意識し、施設改善に取り組む意識、環境活動に対する知識をより一層深めていく所存です。

令和3年8月1日
環境リサイクルエネルギー株式会社
長崎総合リサイクル事業所

代表 外間 広志